

## カーポート設置の推奨事項

さくらの森景観緑地管理組合

令和2年7月27日

さくらの森景観緑地管理組合では、カーポートの設置の際は、本体の揺れの安全などを考慮し、隣地境界線または道路境界線からのクリアランスを正面側、側面側、背面側に最低 200 mmから 400 mmは取っていただくことを推奨しております。

特に片流れのカーポートは隣家への雪などの落下を考慮した位置に設置されることをお勧めいたします。

次項のメーカー回答による「カーポート 施工上・使用上のご注意」を参考にしてください。

弊社のカーポートは、「簡易型車庫」です。車の乗降時に人が直接雨にぬれないことや、冬場の霜対策と、紫外線による車の塗装の劣化を緩和する目的にご利用いただくものです。屋根に乗ったり、暴風にさらされたり、限度超過の積雪などでは、極端な荷重を受け損壊するおそれがあります。

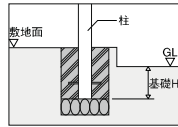
物置・遊び場あるいは住居の一部などへの転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。

施工上のご注意	使用上のご注意
 <ul style="list-style-type: none"> <li>*崖縁などの高低差のある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所ではサポートを取り付けるとともに、風にあおられない向きに取り付けてください。 (例1)丘陵地 (例2)田畑・野原・風を防げる物のない平地に隣接した場所や海岸沿い等片側支持タイプにサイドスクリーンを付ける場合には、必ず補助柱を取り付けてください。風にあおられ製品が破損する恐れがあります。</li> <li>*給湯器やFF暖房器などの室外器の上に、カーポートなどの屋根商品を施工しないでください。排気ガスによる中毒、塗装劣化のおそれがあります。</li> <li>*みだりに改造・変更をしないでください。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>商品の破損などによる物の落下・人の転落・建物の損傷などのおそれがありますので、以下の使い方を守ってください。</li> <li>*屋根に物を載せないでください。</li> <li>*屋根に乗ったり、または柱に登ったり、ぶら下がったりしないでください。</li> <li>*落下物による破損は防止できません。地震時の避難や待機場所には、落下物による危険が伴い不適切です。</li> <li>*雪下ろしの際、絶対に水をかけないでください。雪が氷状になり、さらに重くなります。</li> <li>*雪下ろしの際、金属製スコップ等を使用すると屋根材が割れたり傷つく原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行ってください。</li> <li>*当社指定の付属品以外は取り付けしないでください。</li> <li>*ボルト・ナット・ねじ等は絶対にゆるめないでください。</li> <li>*シャッターが開ききるまで車を進めないでください。シャッターが上がりきらない状態で車を進めると車に接触するおそれがあります。(スタイルコート)</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>*カーポートには一般地域用や積雪地用などがあります。当社の製品性能を十分ご理解の上、使用環境に合わせた適切な商品選定をしてください。</li> <li>*積雪の多い環境で「一般地域用」をご使用になると、積雪による損壊のおそれがあります。「積雪地用」をご使用いただいた場合でも、限度外の積雪荷重による損壊のおそれがありますので、積雪が限度を超過する前に、必ず雪下ろしが必要です。</li> <li>*当社表示の耐風圧強度は、自社試験数値です。暴風にさらされる地域・季節においては、想定外の風速が記録されます。さらに、敷地・立地条件によって、気象台観測風速以上の風速になります。屋根の飛散・躯体の損壊のおそれがありますので、施工取り付けの業者様と十分にご検討ください。</li> <li>*海岸地帯では塩害により腐食が発生する可能性がありますので、施工取り付けの業者様と十分にご検討ください。</li> <li>*カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込深さを確保してください。</li> <li>*カーポートを隣地境界の近くに設置する場合は、隣地への落雪によるトラブルが起きないように、設置場所には注意してください。</li> <li>*施工取り付けに関しては、メーカー標準の基礎寸法や、使用材料の規定が必ずしも現地に当てはまるものではありません。性能・機能を発揮するためには、現地の条件に応じた判断と施工が必要です。(堅牢な地盤、軟弱な地盤など現地判断が必要です。)施工取り付けの業者様と十分にご検討ください。コンクリート土間がある場合の基礎形状は下記の施工条件のみ適用可能です。 (1)土間コンクリートの厚さが100mm以上であること。 (2)鉄筋・溶接金網が配置されていること。 (3)浮き上がり防止の突起寸法は50mm×50mm以上とすること。 (4)基礎縁端部から土間外周部までの最小距離(縁端距離)は、200mm以上あること。ただし、商品により寸法が異なりますので取付説明書を参照してください。 日本エクステリア工業会 カーポート基礎共同研究会 報告書より</li> <li>*耐風圧の数値は、参考としての自社設計値です。個々のお客様については、敷地・立地の条件により、気象庁観測データがそのまま当てはまることはありません。設置にあたっては、十分にご検討ください。</li> <li>*寒冷地で凍上の恐れのある地域に取り付ける場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>*熱による膨張・収縮により屋根材がこすれる音が発生しますが、性能上問題はありません。</li> <li>*太陽光のあたり方により、アルミニウムを曲げている商品については、色ムラが見える場合がありますが、使用上は問題ありません。</li> <li>*設置直後は屋根材の撥水性が高いため、雨水が水玉状に残る場合があります。時間とともに雨水は均等に広がります。</li> <li>*屋根自身の重みにより柱がたわむことがありますが、性能上は問題ありません。</li> <li>*屋根材(アルミ形材)の部材ごとの色のばらつきは、色調限度範囲内ですが、光の反射などにより、見え方にばらつくことがあります。(カーポートSC)</li> <li>*屋根材の隙間が、製造上・施工上ばらつきが生じることがありますが、使用上は問題ありません。(カーポートSC)</li> <li>*雪の重さは雪の状態によって大きく変化しますので、安心してお使いいただくために、次ページ(P.247)の積雪量になる前に、必ず雪下ろしを行ってください。</li> <li>*地域・気候・使用状況などによっては、屋根材やパネルに結露が発生し、結露水が落ちる場合があります。</li> <li>*FRP板はポリカーボネートに比べ割れやすい素材ですので、落としたりぶつけたりしないでください。</li> <li>*カーポートの近くで殺虫剤などの化学薬品を噴霧しないでください。ポリカーボネート板やFRP板にひび割れが発生する場合があります。</li> <li>*降雪時期に凍結により樋が破損するおそれがある場合は、樋の排水口が、雪や氷でふさがらないようにしてください。また、ドレンエルボのキャップを取り外すことをおすすめします。</li> <li>*雨樋のたわみにより雨樋の中に雨水が少し溜まってしまふことがありますが、性能上問題はありません。</li> <li>*物干しの制限荷重は総重量50kgです。これ以上の重さをかけないでください。また、積雪時、強風時のご使用を控えてください。商品が破損するおそれがあります。</li> <li>*屋根材(アルミ形材)が太陽の反射により、眩しい場合があります。(カーポートSC)</li> </ul>
<p>次ページへつづく↓</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>*定期的(年一回程度)にボルトの緩みを点検し、締めなおしてください。締め直してもがたつく場合は腐食の恐れがありますので、お買い求めの工務店様・販売店様または弊社営業所へご連絡ください。</li> <li>*シーリングは、定期的なメンテナンスが必要です。</li> </ul>

## 施工上のご注意



- \*敷地面がGL面より高い位置に凍上柱を設置する場合、必ずGLラインより所定の基礎Hを確保してください。
- \*スチール折板屋根材は寒冷時に結露が発生し、結露水が落ちる場合があります。濡れると困るものは置かないでください。
- \*スチール折板は現場調達品のため品質にばらつきが生じます。(折板の細部形状、ペフの性能など)
- \*スチール折板のペフは早期に劣化する恐れがあります。
- \*商品の施工については、必ず取付説明書に従ってください。
- また、施工完了後に取扱説明書を施主様にお渡しください。
- \*電装商品の場合は、配線工事を有資格の専門業者に依頼してください。
- \*柱の移動範囲は当社の指定範囲内にしてください。
- \*本製品は地上階に取り付けられる設計となっております。2階以上の高所に取り付けると強風により製品が破損するおそれがあります。
- \*水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。



### ●シーリングについて

シーリングは指定の箇所に必ず行ってください。  
シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れなどのおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコン※	トスシール380
東レ・ダウコーニング	SE960

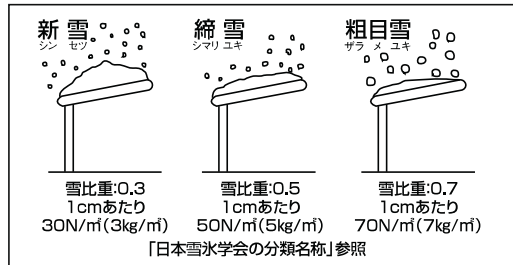
※現在はモメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン

## ■耐積雪強度

積雪量	商品名
一般地域	30cm カーポートSC、フーゴ R・F・A、ネスカ R・F、アーキフラン、アーキフィールド、アーキデュオ 3台用、Gルーフ、カールーフトイプ、テールポートシグマⅢ、レガーナポートシグマⅢ、カルエードシグマⅢ
	45cm フーゴ R・F 900、ウインスリーポートⅡ 900、テリオスポートⅢ 900
	60cm ファインポートⅡZ-L
多雪地域	75cm カーポートSC 1500、ソルディーポート 1500、ウインスリーポートⅡ 1500、スタイルコートL 1500、テリオスポートⅢ 1500、テールポートシグマⅢ 1500
	100cm ソルディーポート 3000、ウインスリーポートⅡ 3000、スタイルコートL 3000、テリオスポートⅢ 3000
	150cm ソルディーポート 4500、ウインスリーポートⅡ 4500、テリオスポートⅢ 4500
	200cm ウインスリーポートⅡ 6000、テリオスポートⅢ 6000

- 一般地域：積雪量1cmあたり一般地域は20N/m<sup>2</sup>(2kg/m<sup>2</sup>) [比重0.2]の単位量で算出しています。
- 多雪区域：積雪量1cmあたり多雪区域は30N/m<sup>2</sup>(3kg/m<sup>2</sup>) [比重0.3]の単位量で算出しています。
- 地域、気象条件などにより単位量が異なりますので、注意してください。

## ■積雪量の目安

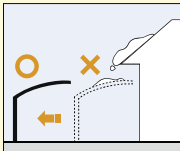


国土交通省告示第80号において、縦連棟については、積雪荷重に割増係数を乗じることと規定されています。(対象商品：テリオスポートⅢ 900、ウインスリーポートⅡ 900、テリオスポートⅢ 1500、ウインスリーポートⅡ 1500、ソルディーポート)

## ▲ カーポート・駐輪場設置にあたってのご注意

カーポート・駐輪場には一般地域用や積雪地域用などがあります。設置する地域の気象条件に合わせて、適応したものを使用してください。

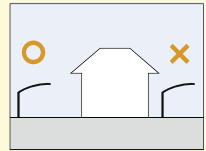
- 建物の屋根の雪などが落下するおそれのある場所への設置はしないでください。落雪による破損や事故が起きるおそれがあります。



- 崖上など、強風が屋根を吹き上げるおそれのある場所へは設置しないでください。強風による破損や事故が起きるおそれがあります。



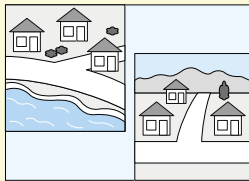
- 風の強い場所では、屋根が風にあおられない向きに取り付けてください。強風による破損や事故が起きるおそれがあります。



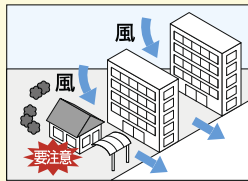
以下の地域では、風による影響を考慮する必要があります。

サポートの取り付けや、お住まいの地域の基準風速よりもワンランク上の商品の取り付けをおすすめします。

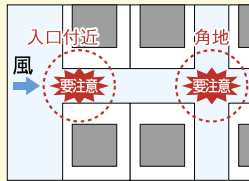
### ①沿岸・田園地域



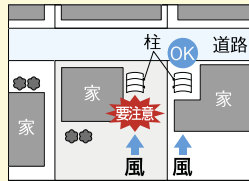
### ②付近にマンションなどの高い建物がおり、「ビル風」が吹く場所



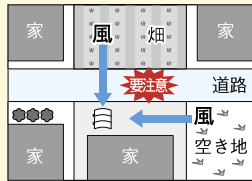
### ③住宅地の入口や角地に家があり、周りの風の通りがよい



### ④住宅地の入口や角地ではないが、敷地の配置上、風の通りがよい



### ⑤その他カーポート設置予定場所から見て、2方向以上が空き地や田園・公園などがあり開けている



## ▲ ご注意(カーポート・駐輪場)

- 弊社のエクステリア商品は、日本工業規格(JIS)や社内基準に準拠しており安全にご使用いただけるよう設計されています。なお、その設置場所や地域・用途により法規や条例などの制限を受ける場合がありますのでエクステリア商品を設置する場合には、その地域の所轄窓口にご確認ください。
- 確認申請が必要な場合は本カタログをご確認ください。
- 当社製品に関連する建築法規は、公式ホームページをご参照ください。  
[https://s.lixil.com/law\\_al\\_g](https://s.lixil.com/law_al_g)

